

## 飯山市教育懇談会（秋津小学校区）発言要旨

平成25年10月17日（木）秋津地区活性化センター

- ・ 柳沢運動プログラムの各小学校での取り組みについて教えてほしい。
- ・ 高学年はクラブや習い事で忙しく、家庭学習が疎かだと感じる。  
学校運営協議会が設置され、放課後授業・サマースクール等を実施し、地域が学校を取り巻く状況を作れば、子どもの学力も向上すると思う。
- ・ 勉強・勉強・勉強ではなく、小学校でしかできないことを学校で教えてほしい。学校と子供だけでは家庭学習時間が増えない。高学年の保護者に向けて学校方針を伝える機会を設けて欲しい。また総合学習にも力を入れてほしい。
- ・ 学校からの情報が少ない。上の子が低学年では学校の仕組みもわからない。もっと情報発信をして低学年の保護者の理解も高めてほしい。
- ・ 学校との懇談の場を設けて欲しいが、その場に参加しようと保護者同士の声掛けも必要。コミュニティ・スクールでは保護者が、学校や地域に頼りすぎている。保護者も参加し盛り上げたい。児童減少を盛り上げるにはコミュニティ・スクールで地域との関わりが大切。放課後は学校を開放し、家庭学習は保護者も協力すべき。
- ・ ゲーム・テレビの時間は学校が規制をかけるべき。「社会力」の高い子どもは学習成績も良く、「社会力」を育てることが学力向上につながる。親が自分の考え方、行動を子どもに見せることが、子どもの「社会力」を高める。学校と保護者が協力して子どもを育てる「学社融合主義」が大切。

- ・学校と地域が上手く繋がっていない。関係者が語り合う機会が少ない。お互いプラスの面も話し合えればと思う。先生が気持ちよく授業改善できるようにしてほしい。放課後は地域が支え、家庭ではしっかり心と体を休め、学校や地域で活動してほしい。
- ・今の先生は昔と違いやさしい、もっと怖くてもよいと思う。小学校では情操教育が一番大事、あまり成績を比べてほしくない。中学では勉強に対する意識が大きく変わる。小学校は授業でしっかり学び、普段は子どもたちを遊ばせてほしい。
- ・安全面から子ども達は刃物の使用が禁止されている。これが逆に命を粗末に繋がる気がする。実際ケガをし、痛さを知ることが大事。今のゲームでは命の大切さが伝わらない。情操教育が大切。
- ・週休2日では、授業日数が少なく授業の密度が濃い。今後土曜日の授業は考えているか。中学では一段と授業の進むスピードが早い。家庭学習も必要だが、授業の時間数も大事に考えて欲しい。
- ・秋津は情操教育・地域のコミュニティ等素晴らしいが、学力は心配。中学からでは遅い、子ども達は選択肢がたくさんあるようにお願いしたい。地震に対しての備えとして、座布団代わりに防災頭巾も検討してほしい。
- ・今は何でも学校へ諸問題を持ち込むが、地域・家庭・社会全体で解決方法を考えるべき。小中学生には、ゲーム・携帯（電話）は不必要。学力向上と人間としての生き方の高まりはイコールではないと感じる。
- ・1年生時と比べ2年生ではしっかり授業を受け、家庭学習も自ら学習している。先生方のご努力は大変ありがたい。